

名前 _____

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストの復習用を解く	
② 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
③ 宿題用テキストの作図	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は、光（2）について学習しました。

今回は作図の練習の回となります。授業用テキストと同じ問題が宿題用テキストに載っていますので、基本メニューとしてもう1度手順を確認しながら作図に取り組んで下さい。

それぞれの作図でのポイントは以下の通りです。

①ピンホールカメラ

- 内箱を遠ざけたら像は大きくなるが、暗くなる。逆に内箱を近づけたら、像は小さくなるが明るくなる。
- 物体自体を近づけると像は大きくなり、遠ざけると像は小さくなる。
- ピンホールカメラの穴を大きくすると、像は大きく明るくなるが、ぼやけてしまう。

②鏡

- 鏡に対して線対称な場所に点を取る。
- 線対称な点と目をつないで鏡のどこで反射をするかを見つける。
- 実際の光の道筋を書く。

この3つの手順で書けるようになります。

③凸レンズ

- レンズの中心に入った光は直進する。
- 光軸に平行な光はレンズで屈折をして焦点に進む。
- 上記2本の線の交点に向かって像を書く。

この3つの手順で書けるようになります。

また、できる像の大きさと場所については、焦点距離の2倍の距離に物体を置いたときを基準にし、物体をレンズに近づけたときと遠ざけたときに像ができる場所と大きさがどうなるかがわかるようになります。